

第 63 回広島県歯科医学会 併催 第 108 回広島大学歯学会例会講演抄録

保坂啓一

【講演タイトル】

コンポジットレジン修復における革新とさらなる発展: デジタル技術と接着技術の融合

【講演内容】

保存修復治療において、直接法コンポジットレジン修復の有効性は広く認識されていますが、術者の技量や治療時間の課題から、間接法が選択されることもあります。しかし、接着技術とデジタル技術の進展により、間接法だけでなく直接法修復にも大きなメリットがもたらされています。特に、デジタル技術を用いたクリアインデックステクニックは、直接法の新しいスタンダードとして注目されています。

本講演では、デジタル技術と革新的な接着技術を融合させた次世代の治療アプローチを紹介し、低侵襲で機能的かつ審美的な回復を実現するための具体的手法について提案します。これにより、高次標準化された治療が実現し、メタルフリー時代にふさわしい低侵襲性を保ちながら、患者の満足度と治療効果の向上が期待されます。

参加者の皆様には、この講演を通じて、次世代の歯科治療を推進するための具体的な方法と洞察を提供し、臨床現場での新たな革新に役立てていただくことを目指します。会場でお目にかかるのを楽しみにしております。

千葉県八千代市開業

稲山 雅治

演題

「患者・スタッフ・Drにとって幸せになれる DX 治療について～主に医院で使用するオーラルスキャナー運用について～」

現在、様々な方面でデジタル化の波が押し寄せ来ております。歯科においても過去を振り返ると、X線写真やレセプトなどがデジタル化を乗り越えてきました。

技工作業はデジタル化してきており、歯科医師サイドも、印象採得のデジタル化であるオーラルスキャナーが比較的安価で入手しやすくなってきましたこともあり、市場に広がってまいりました。本年度の保険改定においても CAD/CAM インレーの光学印象が収載され、新たに導入を考えられる先生方も多いと考えます。多くの先生方が導入にあたり、迷うべきことを、一開業医目線からお伝えしていきたいと考えております。

何の肩書もない自分が、今回このような発表の機会をいただいたのは、昨年某歯科ディーラーセールにて偶然にもとても安価でオーラルスキャナーを導入し、即座に 2 本目のスキャナーを購入したことから始まります。その有用性に感動し、また昨今の物価上昇に伴い、値上げすると聞いたため、清水の舞台から飛び降りるつもりで、2 本目を購入しました。購入して、本当に良かったと感じています。

このオーラルスキャナーの導入によって、多くの一般開業医の福音になると確信しております。その理由について共有させていただければと考えております。

題名にも挙げた通り、歯科医師サイドだけではなく、スタッフや患者さんにも多くの利点があります。

特に強く感じているのは「時は金なり」です。最近の若者たちはコストパフォーマンスだけではなく、タイムパフォーマンスを求めることが知られています。メーカーやディーラーは、「一回何円で月何回で償却しますよ」という謳い文句やパンフレットをもって営業に来られると思います。しかし、この道具の本質はそこではないと感じています。

圧倒的な簡便さ、手間の少なさ、管理のしやすさがその本質だと感じております。

これまで運用してきた中で、どうしてこういう考えに至ったのかをお話させていただきます。

2022年における広島県の歯科技工士就業状況について

○岩畔将吾，白井政博，松井哲也，瀧本満弘，舟橋文子，宮田和彦，下江宰司
一般社団法人 広島県歯科技工士会

歯科技工士は2年に1度，厚生労働省令で定める事項の届け出が義務付けられている。各都道府県で集計された届け出は隔年で公表されている。この度，2022年末時点の集計結果が県より提供されたため，過去の資料と比較し報告する。また，全国歯科技工士教育協議会で取りまとめられた国内の歯科技工士養成機関における求人状況などについても併せて参照した。

2022年における広島県の就業歯科技工士総数は960人で2020年（前回）と比較して45人（4.5%）減少した。年齢階級別就業状況では，50歳以上の合計がここ10年以上増加し続けており，今回は全体の半数を超えた。一方20代・30代は減少が続いており，今回24.8%だった。近い将来の高齢技工士引退に備えて，女性を含めた若い世代には継続して県内の歯科技工を支え続けてもらう必要がある。そのためには歯科技工士の離職防止・定着率アップのための環境整備がより一層求められる。